No４０１　　2026年3月　October

「de mano(で まぁの)」は、牛豚肉を加工する「まぁの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まぁの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。
「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まぁの から de mano

エスペラント語で「mano」は「手」、「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まぁの　【火曜定休】
兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6
☎ 06-6495-2546
📠 06-6495-2900
✉ mano0298@snow.plala.or.jp
HP　https://www.e-sora.net/mano/

大鹿行き（9／12･13 予定）中止

代わりに歌舞伎見学　9 月 27 日（日）

「大鹿行き参加希望者が少なく、中止します」と、安全農産の荒木さんから連絡を受けました。コロナで３回中止しましたが、欠員で中止は初めてです。

そこで前から香糸さんから聞いていて、行くつもりでいた「大鹿中学校歌舞伎公演会」を主目的にして、出かけることにしました。香糸さんの娘の颯美（ふみ）が中３で、来年卒業したら村を出ていくかもしれません。長い間会っていないし、いい機会だと思いました。



大鹿歌舞伎は、大鹿村で江戸時代から連綿と演じ続けられてきました。演者は村人、皆、手弁当です。春５月３日憲法記念日は大河原の大磧神社、秋１０月第３日曜日は鹿塩の市場神社で、定期公演があります。それぞれに向けて、演者は練習に励みます。当日村人は朝から席を確保してろくべんやお酒を持ち込み、やんやの喝采を送ります。私も一度５月３日に観賞しました。村人口よりも多い外からの観客で大賑わいでした。

２０１１年、あの大震災の年に公開上映され大ヒットした「大鹿村騒動記」では、この大鹿歌舞伎をめぐって話が展開します。社会的評価も高く、１９９２年にはドイツ公演、２０００年には国立文楽劇場で公演しています。このような実績を重ねて、２０１７年には地芝居として初めて、国の重要無形民俗文化財に指定されています。さらに去年「大鹿歌舞伎保存会」が日本ユネスコ協会連盟主催の「プロジェクト未来遺産２０２５」に登録されました。

村では次世代へこの歌舞伎を伝えるために、子どもが小さな頃から伝承を進めています。今度観に行く中学生の歌舞伎もその一環です。



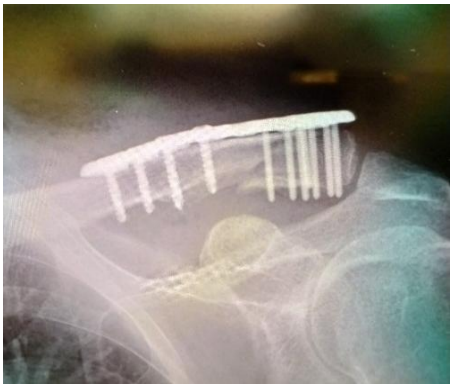
怪我の顛末

８月 13 日、盆で帰ってきた息子ファミリーと西宮のスケートリンクに行っていました。メインとサブ、二つのリンクがあり、年中滑れるありがたいリンクです。私は大学時代スピードスケート部でしたので、足がまだ感触を覚えています。私がメインで滑り、息子ファミリーはサブで滑っていました。ちょっと様子を見ようと、メインからサブへマットの廊下をスケート靴のまま移動中、段差に全く気付かず左側へ肩から転落しました。激しい痛み、右手で触ると鎖骨が飛び出ています。近くの病院へ救急車で運ばれ、レントゲンで「左鎖骨遠位端骨折」と診断されました。



家が豊中なので豊中

病院への紹介状を書いてもらい帰宅。



翌日改めて豊中病院で診断を受け、8月20日入院、21日手術、23日退院のスケジュールになりました。鎖骨にプレートを添えて、11 本のボルトで固定する手術は順調に終わりましたが、以降ずっと三角巾で左腕を吊るしています。完治までは3,4か月かかるとのことで、当分重いものは持てず、肉の仕事もできません。ずっとお世話になっている職人の大平さんに都合をつけて来ていただいて、何とか製造しています。

皆さんには大変ご迷惑をおかけしています。申し訳ありません。しばらくご辛抱、ご協力をお願いします。

やっと暑い夏？

希望農場-８月農場たより　清野　光弘

７ 月は、昨年とは大違いで涼しい夏となりました。8 月に入ると３０℃近くまで気温が上がる日があり、今年は遅くて暑い夏になるのでしょうか？　今年は台風の影響が直接北海道に及ぶことがなく、余波で気温が高くなるくらいでした。ただ、日本は広くて沖縄などでは影響が凄いようで、木々が大きく揺れて風になぎ倒されてしまっている様子を見ました。他の都府県でも大雨や土砂崩れなどの被害が出ています。

そして、７月の末の２８日。またしても熊本で大きな地震があり、亡くなった方、家の被害がでて避難所で暮らす方など、大変な生活をしている多くの人たちを思うと心が苦しくなります。私も今から８年前に大きな地震を体験しているからです。熊本でもこれからボランティアの方、多くの人たちからの災害の支援が必要になります。３５℃を超える日もある中での復旧作業は大変なものだと思います。私も地震の際にコープ自然派の組合員の方や他の知り合いなどから助けてもらった経験から、わずかではありますが募金をさせてもらいました。早くいつもの生活に戻って欲しいと祈るばかりです。



放牧豚たちには２５℃の気温も暑く、口を大きく開けて呼吸をしています。皮膚呼吸ができない豚は、水たまりで体中に泥をつけて体を冷やしています。ただ、夕方になると豚たちの行動が忙しくなりました。餌を食べ、農場内を走り回り、日中の豚とは比べ物にならないほどでした。夏本番ではありますが、皆様、お身体には十分気をつけてください。私たちも体調管理に気をつけて、美味しいお肉をお届します。

病　室　仲　間

わずか３泊４日の入院でしたが、同室の木村さんと仲良くなりました。１０歳年上の８６歳。あちこちガタが来てしばらく入院中ですが、気持ちは若く意欲満々、「死ぬまで働く」と意気軒昂です。

私との何よりの共通項は音楽でした。若い頃大阪に出てきてピアノの調律師を目指し、音楽業界に深く関わるようになり、ピアノ販売を生業にしてきました。全国にピアノを届け、３５０kgのピアノを一人で動かしたと言います。さらに大阪で著名な音楽家を指導者に迎え、次々と合唱団を設立しました。みんなが集まった機会には８００人の前で指揮棒を振ったこともあると言います。３人の子どもたちもみな音楽業界で働いています。



私もゴスペルサークルの話をし、「音楽っていいよねえ。人と仲良くなれる。歌うことが楽しい」。木村さんも「そうそう、ハモッたら最高！」。

私が退院の時には握手して別れました。

ニ　ク　ヤ　ノ　ツ　ブ　ヤ　キ

◇　今までのように、印刷機を借りて自分で印刷できませんので、今回は部数を大幅に減らします。各グループ一部でお願いします。ご了承ください。　（幸治）

◇　マグロのように始終動いていた人が、暫く左腕を使わないように言われ座っている時間が長くなりました。最近は物忘れがひどいのに、それが進まないか心配です。　（幸子）